

# 叱責の声を浴びながら ~行政対応の最前線~

国立感染症研究所実地疫学研究センター

第一室 室長 島田 智恵

# 本日の内容

- 自己紹介、FETPとは
- 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）への行政対応
  - そもそも行政とは？
  - COVID-19をめぐる出来事と社会の空気
  - 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）への行政対応
- 医療機関でのクラスター対応事例の紹介
- Take home messages

# 自己紹介

- 佐賀医大10期生
- 女子バスケット部 1990年西医体 初出場初優勝！
- 1993年卒業 総合診療部入局
- 2004年留学 Emory University, School of Public Health
- 2008年～国立感染症研究所
  - 2013～14年:WHO西太平洋地域事務局  
健康危機管理部局：H7N9、デング熱
  - 2014年：西アフリカ・エボラウイルス病対応
  - 2016年：コンゴ民主共和国・黄熱
  - 2018年：コンゴ民主共和国・エボラウイルス病



現在の医学部バスケット部  
公式インスタアカウントより  
(雰囲気は一緒なので！)



# FETP（実地疫学専門家養成コース）設立の背景



- 1996年大阪府堺市
- 学校給食を食べた児童と教職員計7966人が感染  
→二次感染1557人
- 当時女児3人が死亡

## 指摘された課題

- 国、地方自治体のどちらにも、アウトブレイクに対応可能な人員・仕組みがない
- 国は地方自治体における感染症対応について権限がない

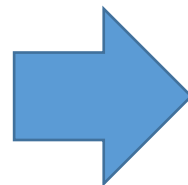


# 1999年「感染症法（正式名称：感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律）」施行

- 伝染病予防法(1898), 性病予防法(1948)、AIDS 予防法(1989)を統合

## • 健康危機時における国の役割を強化:

- 積極的症例探索や疫学調査
- 感染症対策上の助言
- 複数の部署間の調整



## 実地疫学専門家養成コース Field Epidemiology Training Program(FETP)

- 1999年開始
- 目的:感染症危機管理事例を迅速に探知して適切な対応を実施するためのコアとなる**実地疫学者を養成し、その全国規模ネットワークを確立する。**
- 2年間の実務研修



# 新型コロナウイルス感染症への行政対応

# そもそも行政とは？

行政（ぎょうせい、英: Executive /Administration）

- 立法および司法と並ぶ**国家のはたらき・営みの一つ**。**法律や条例などにより決定された内容を執行**したり、諸外国との条約や協定などを締結したりすることである。

『用語集 政治・経済 第3版』2016年9月、97頁を一部改変



**保健所**も法で定められた、公衆衛生に係る事項を行う公的機関です。

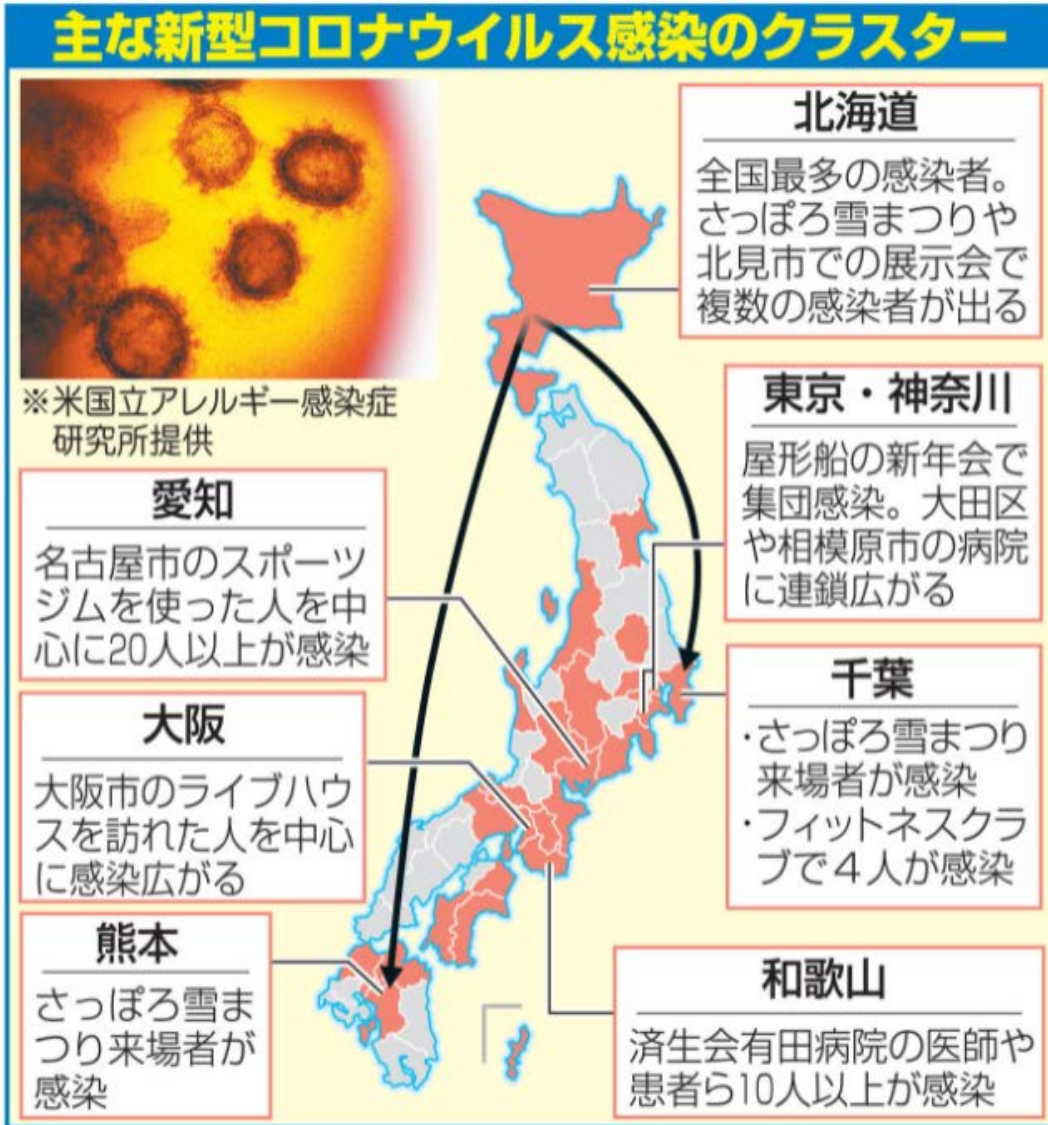
# 新型コロナウイルス感染症をめぐる初期の出来事①

- 2020.1.6 中国武漢での原因不明の肺炎の発生に対し事務連絡を発出  
**疑似症サーベイランス（感染症法第14条第1項に規定する厚生労働省令で定める疑似症）の運用開始**
- 2020.1.16 国内第1例目の報告（武漢より入国）
- 2020.1.24 武漢都市封鎖
- 2020.1.29 武漢からのチャーター便の第一便が羽田空港に到着
- 2020.1.30 WHO「国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態（PHEIC）」を宣言  
政府「新型コロナウイルス感染症対策本部」を設置
- 2020.2.1 **感染症法上の指定感染症へ**
- 2020.2.3 ダイヤモンドプリンセス号が横浜港に入港





# 初期の出来事②



日刊スポーツ 2020年3月4日

- 2020.2.13 東京都「屋台船クラスター」
- 2020.2.17 厚労省「受診・相談の目安」を公表
- 2020.2.25 **厚労省「クラスター対策班」設置**
- 2020.2.27 首相全国小中学校について臨時休校を要請
- 2020.3.6 PCR検査に公的医療保険が適応

3月4日

新規陽性者36名（累計329名）

# 2020年2月25日：厚労省「クラスター対策班」

新型コロナウイルス感染症 クラスター対策による感染拡大防止

クラスター対策の課題

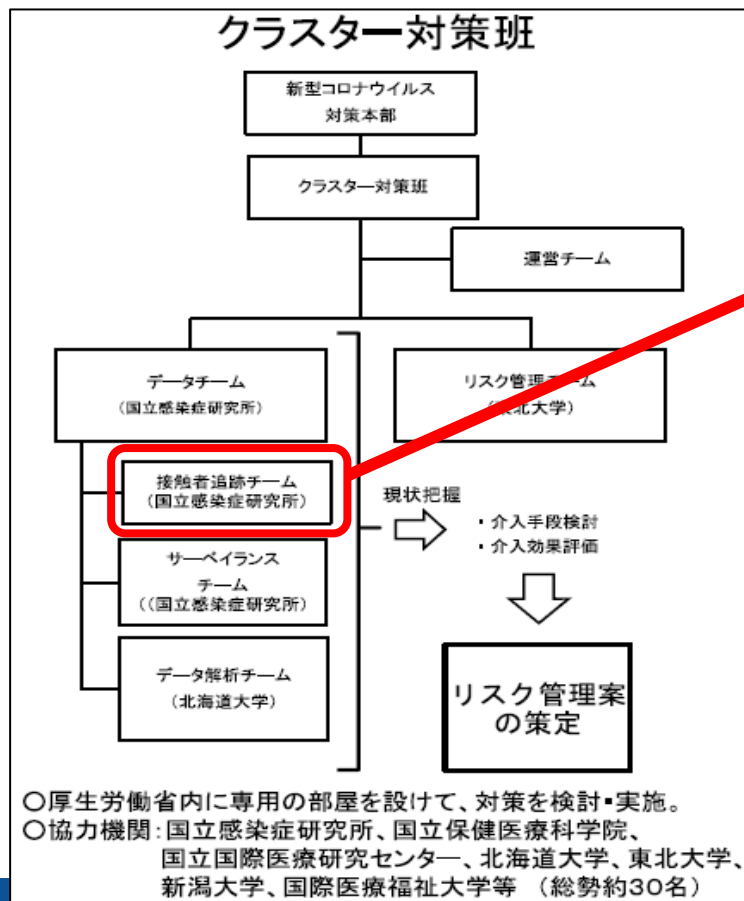
地方

連携

国

今後、小規模なクラスターが散発的に発生してくる中で、発生自治体のみでの対応には限界

対象自治体がクラスター発生時に短期集中的な対応を躊躇なく進められるよう、政府として省庁横断的な支援施策をとりまとめ、最大限支援

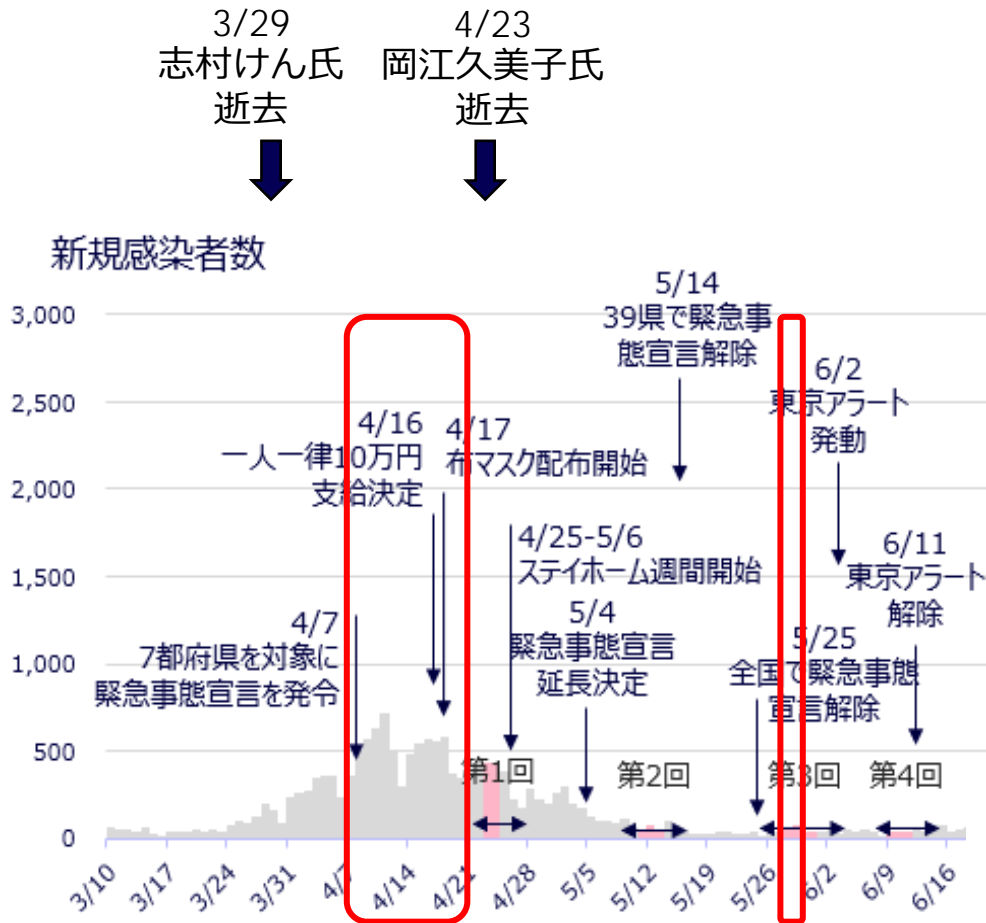


## FETPが担った役割

自治体（主に保健所）が活動拠点

- 積極的症例探索や疫学調査
- 感染症対策上の助言
- 複数の部署間の調整

# 社会の「空気」～第1波～



2020/05/29

福岡市庁舎でフライデー・オベーション  
医療従事者らへ感謝の拍手／福岡  
毎日新聞 2020/4/18

電通のHPより引用  
<https://www.dentsu.co.jp/news/sp/release/2020/1204-010305.html>

その頃保健所は . . .

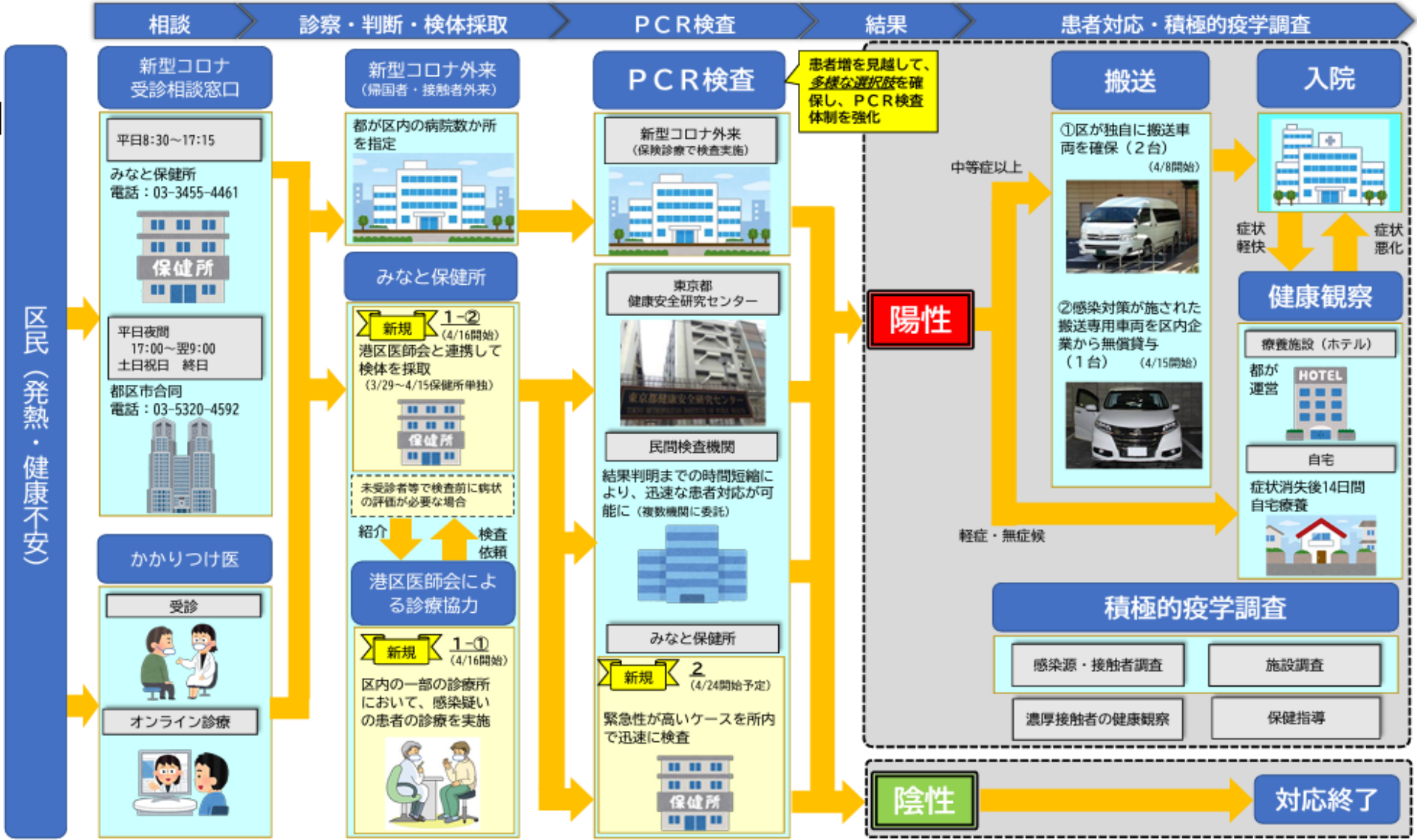
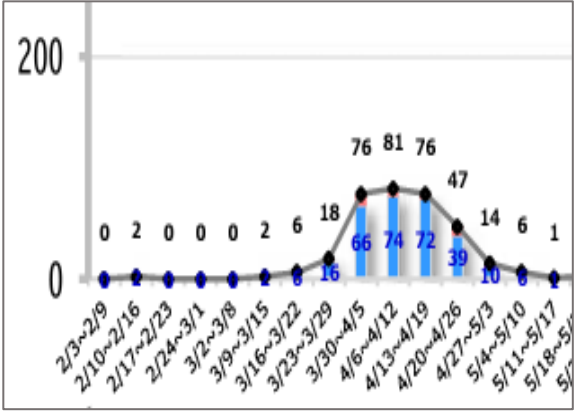


# COVID-19対応：保健所の役割

## 新型コロナウイルス感染拡大防止に向けた みなと保健所の取り組み

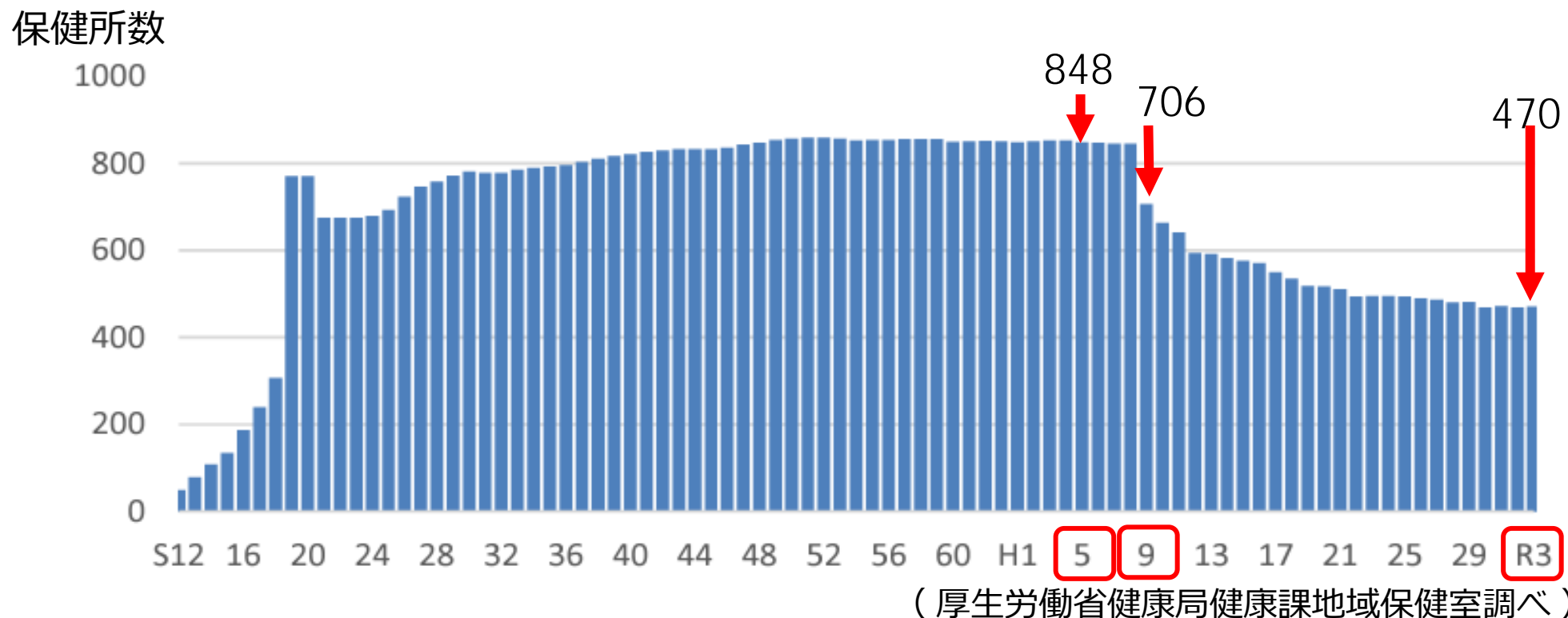
例：  
「みなと保健所からの  
お知らせ（2020年4月21日）」  
より [https://www.city.minato.tokyo.jp/houdou/20200421\\_press.html](https://www.city.minato.tokyo.jp/houdou/20200421_press.html)

・2月中旬～問合せ100件↑  
3月に入るとさらに激増



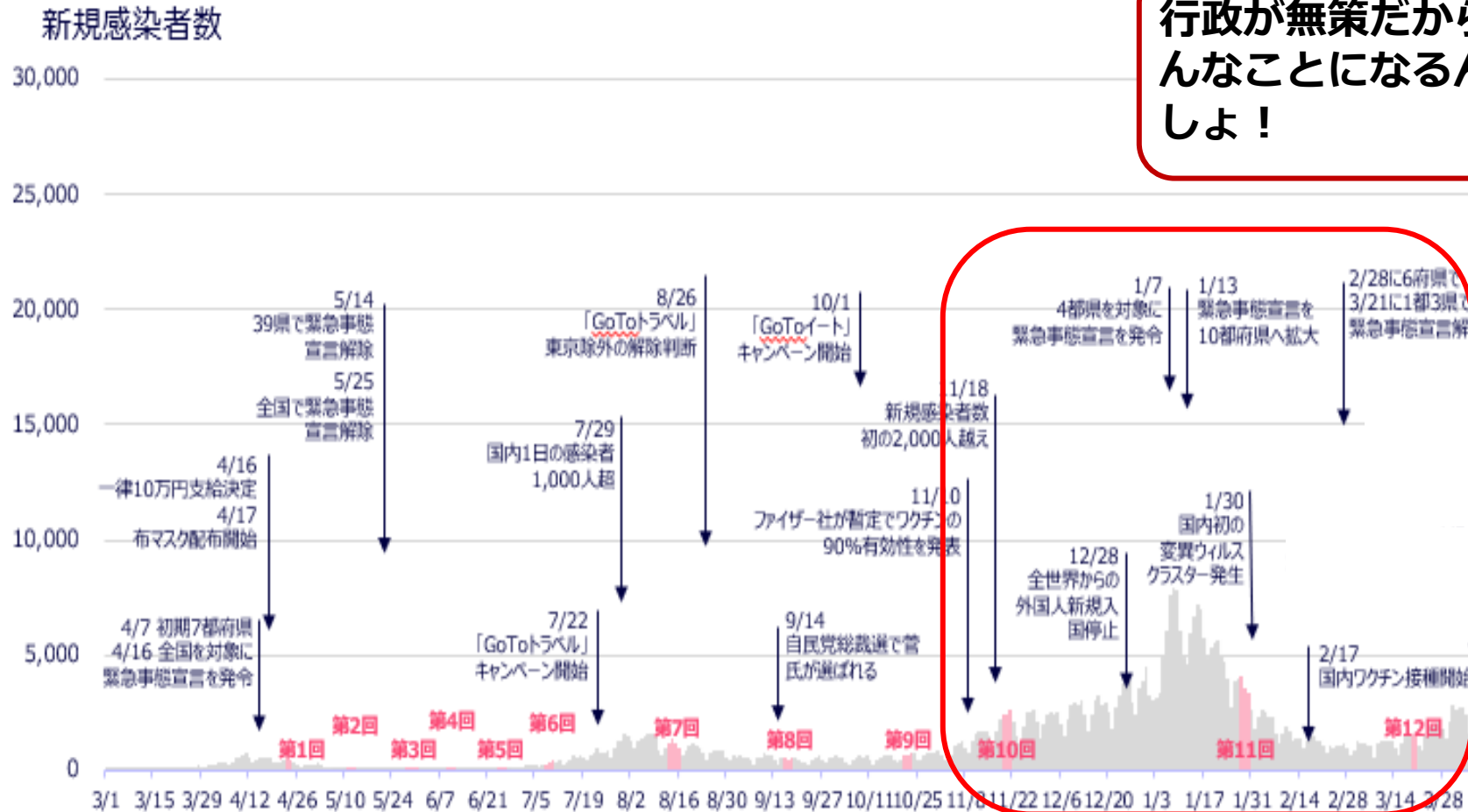


# 保健所数は平成5年と比較し約半分の数に



平成9年以降、行政改革により保健所数が減少

# 社会の「空気」～第3波～



行政が無策だからこんなことになるんでしょ！



これ以上何をすればいいんですか！



電通のHPより引用  
<https://www.dentsu.co.jp/news/sp/rel ease/2020/1204-010305.html>

出典元：NHKウェブサイトより (<https://www3.nhk.or.jp/ne>)

# 社会の「空気」～第4～5波～

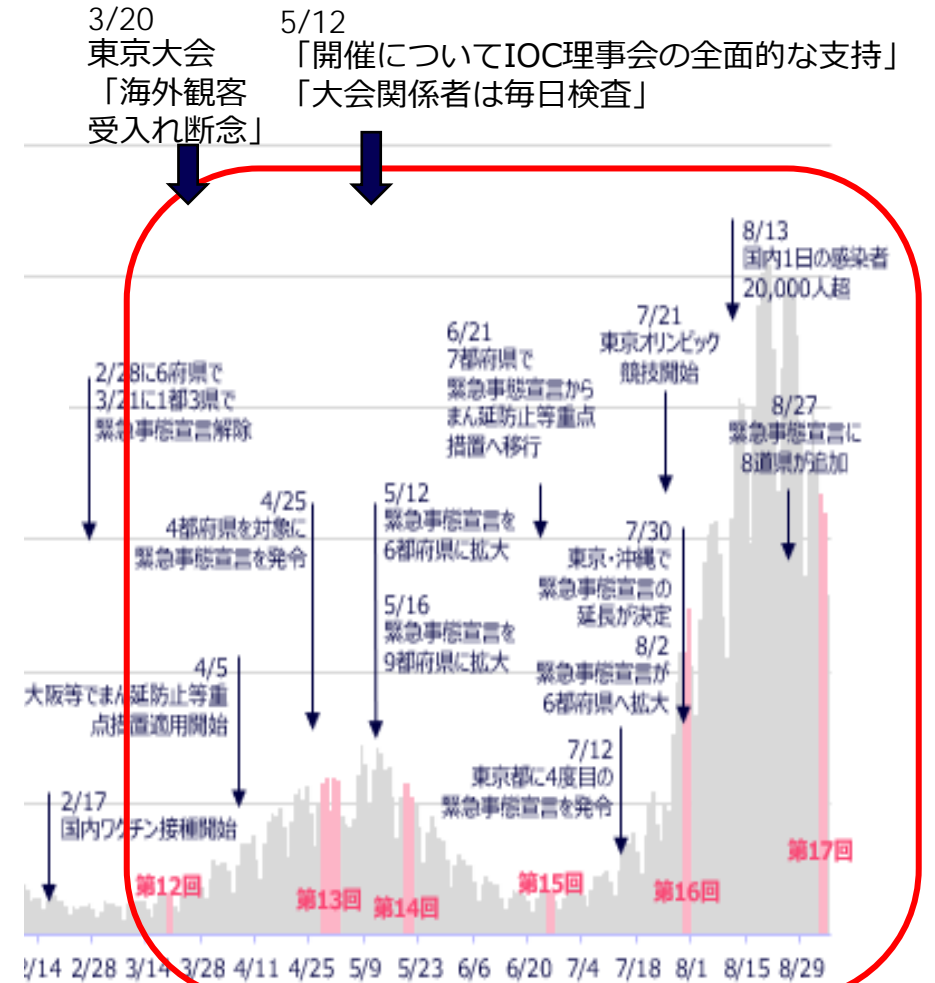
**新規感染者数**

30,000  
25,000  
20,000  
15,000  
10,000  
5,000  
0

**俺が死んだらあなたのせいだからな！**

**あなた達はコロナで仕事はなくならいですよね**

**周りでコロナで死んだ人なんて聞かないけど、生活が立ちゆかなくなっている人はいっぱいいますよ**



出典元：NHKウェブサイトより (<https://www3.nhk.or.jp/news/spedal/coronavirus/>)

電通のHPより引用 <https://www.dentsu.co.jp/news/sp/release/2020/1204-010305.html>

# 医療施設のクラスター対応

# 事例1：X県医療施設関連COVID-19発生状況 (n=24\*, 2020年2月XX日-3月XX日.3月XX日現在)

\*発症日不明の6例は流行曲線にふくまれない

報告数



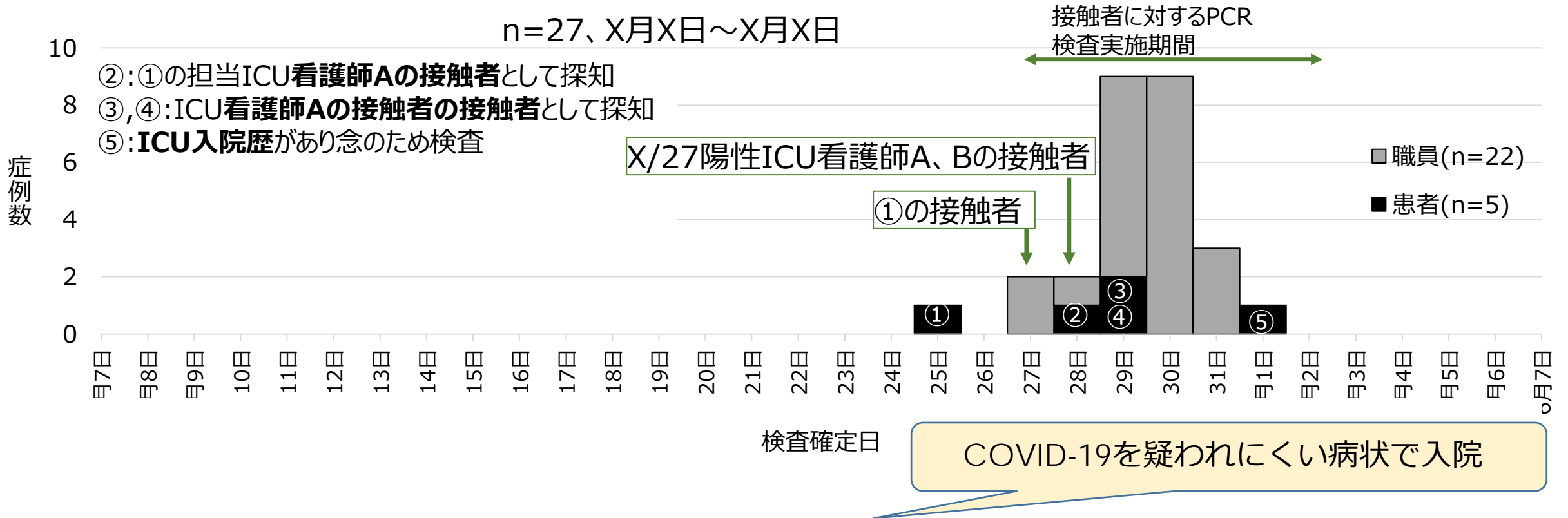
発症日または確定日



# 職員間で感染伝播する機会

- 共有物品を介して
- 休憩室
- 送別会
- 日常生活での3つの「密」や旅行

# 事例 2 : A病院における確定日別属性別流行曲線



# 事例 3 : 陽性となったスタッフへのインタビュー (抜粋)

- 感染機会の推定や、感染に寄与したこと
  - 不適切な標準予防策
    - 時おりマスクを下げたりしていた
    - 頻繁にマスクをいじったりしていた
    - 難聴の患者へ、マスクをはずして話かけた
    - 手指衛生もつい不十分だったりした
    - 「がっつり接する患者さん」に対して、予防策が不十分だったかもしれない
    - PCなどの高頻度接触面の清掃状況不明
  - 会食の機会をもった (気が緩んだ)
    - しばらくCOVID-19の患者発生がなかったため、多人数での会食もした

ついつい気が緩んでしまった

# スタッフ休憩室の様子

- 窓は開かず、換気はしにくい
- 狭い空間
- 密にならないような工夫
- 更衣室も窓は開かず、空気の流  
れはできにくそうだった

# 事例 4 : M病院におけるCOVID-19確定症例発生状況

探知時すでに多くの病棟に陽性例



# 疫学調査票、関係者からの聞き取りより

- ゴミ回収時、**手袋を交換せずに部屋移動し手指衛生の実施なし**
- 更衣室で会話しながら着替えていた
- **休憩室(密かつ換気できない環境や、十分な身体距離の確保なし)で、会話しながら飲食あり**
- リハ時に**マスクを着用できていない患者**がいた
  
- 振り返ってみると、**軽微な症状があったが勤務を継続**していた
- 部署ごとに職員の健康記録はあるが、**体調不良者の集積をチェックする体制がなかった**

業務中やバックヤードで、感染対策が徹底できていない場面が一部認められた  
院内の発生を早期探知する体制が不十分であった

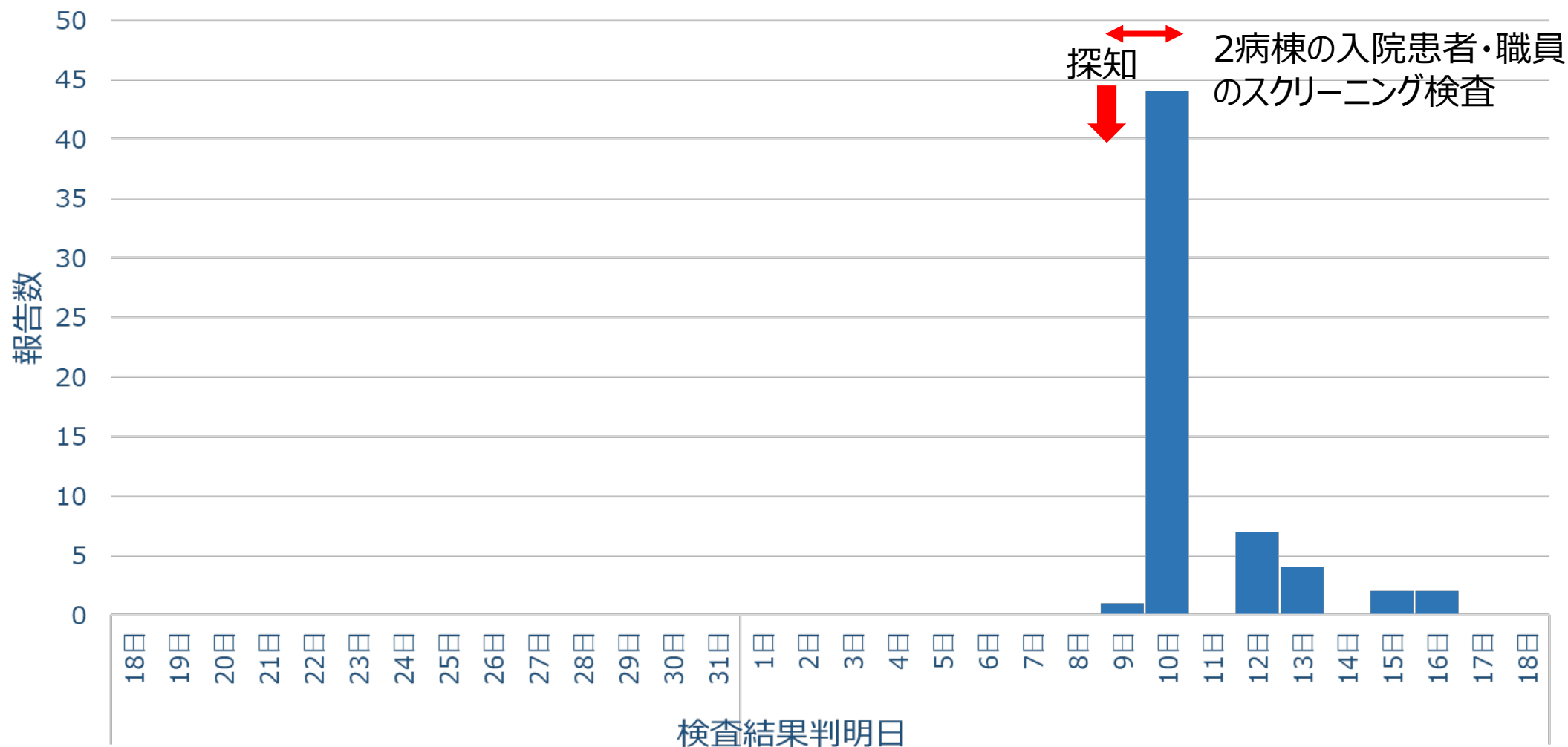
# 本事例に関してよかった点

- 発生早期に対策本部を設置、院内の指揮命令系統を確立
- 意思決定・情報共有のしくみが分かりやすい
- 情報の見える化がなされている
- 感染管理の中心的役割を担う人材がある
- 病棟レベルでも感染管理に関する指導がなされている
- 組織全体で取り組んでいる
- 職員のメンタルヘルスケア：帰宅困難者への支援、外部専門家の介入

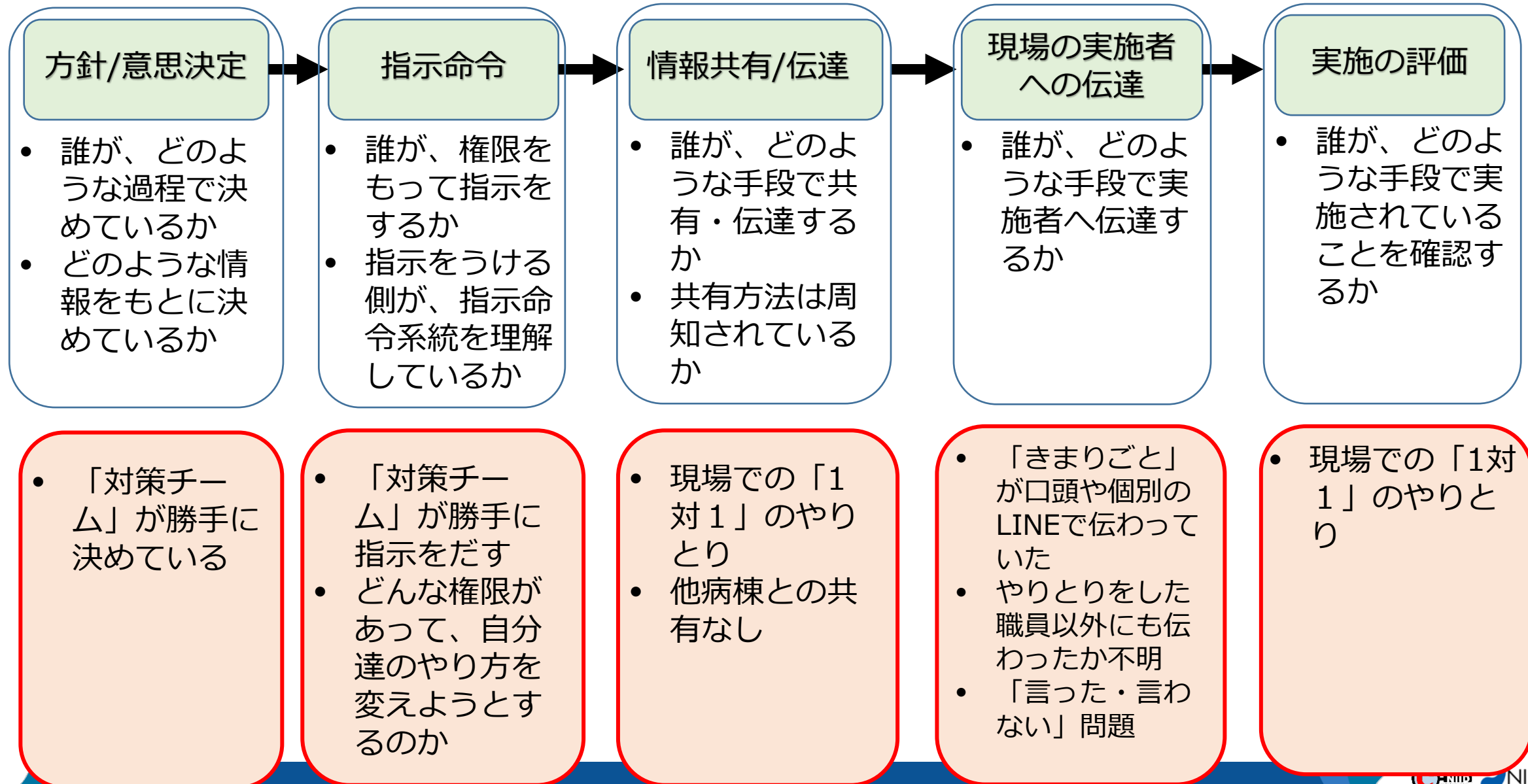
# 事例5：1例目探知後に実施された2病棟のスクリーニング検査で37名中34名の陽性が判明した

病院におけるCOVID-19症例発生状況 2021.

n=60



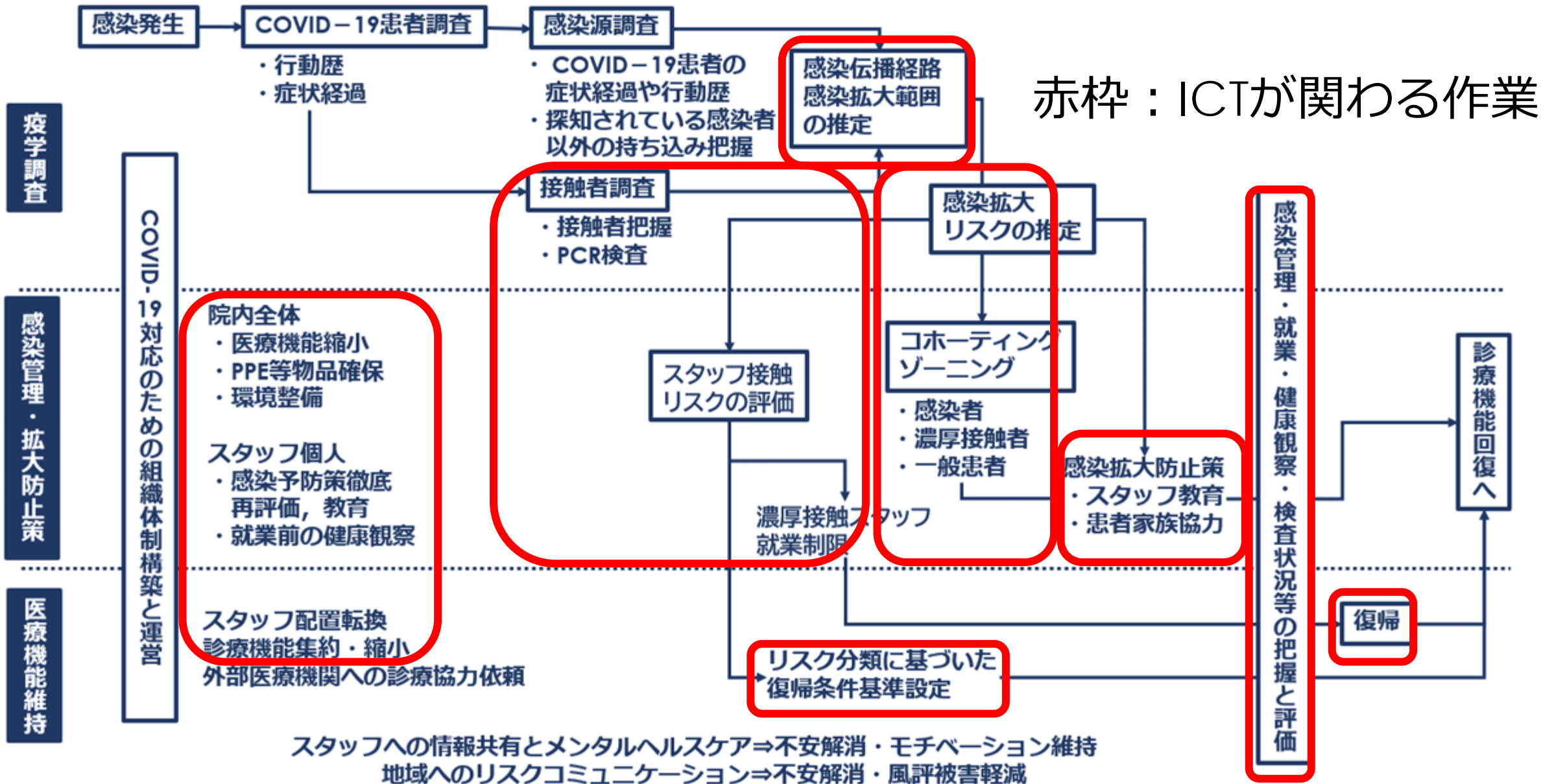
# 感染管理に関する意思決定、指示命令系統における状況



# 事例6：F病院

# COVID-19患者医療施設内発生時の対応概要

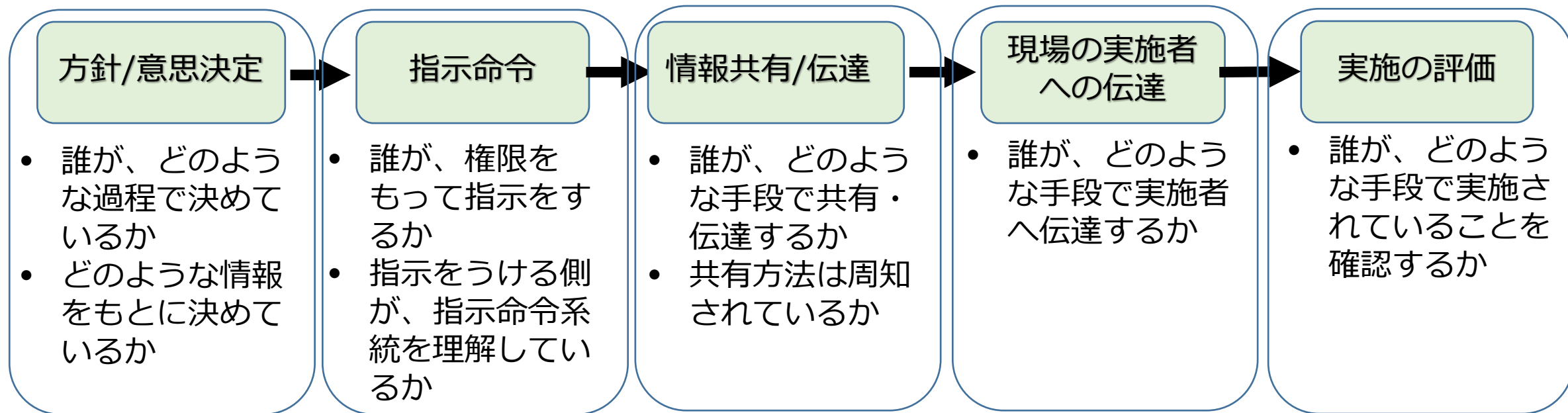
※これらの対応については事例発生前から準備をしておくことが重要



赤枠：ICTが関わる作業



# 感染管理に関する意思決定、指示命令系統における状況



現場の認識や状況

- 病院の方針？
- ○○さん
- ○○長

- ICTの指示
- ○○長の指示
- どちらの指示が有効？

- 管理者から現場レベルへの流れはある
- 部署ごとの決定事項は他部署と共有されていない場合があった

- 実施者へ確実に伝わる流れはある

- 決まった仕組みがなく、個人レベルで実施している
- 現場の疑問点・不安な点がすいあげられていない

# 課題の抽出

## 早期探知・対応

- ・ **職員の体調**の記録/モニタリングの方法が決まっていない
- ・ 病棟における**発熱患者の集積**を探知する方法が決まっていない
- ・ **集積を探知した際の対応**が決まっていない
- ・ **体調不良時に休める仕組み**があるか不明瞭

## 感染管理

- ・ 感染予防策の**正しい理解とスキル**が不足していることがある
- ・ **感染予防策と業務の両立**が困難な場面があった
- ・ 有熱者の多床室への移動
- ・ 現場における感染予防策の**実施状況を評価**する仕組みがない

## 陽性例集積時に 対応可能な体制整備

- ・ クラスタ発生時に、**ICTが最も優先すべき、感染拡大防止に係る業務**（現場での助言、濃厚接触者への対応）に十分関わることができなかった
- ・ **ICTの役割・権限が明確でなく**、予防策に関して複数の指示があった
- ・ BCPに沿った業務整理、**対策本部設置**などが望まれた

# Take home messages

# 医療機関・高齢者福祉施設で勤務する方々へ －いれない、ひろげない、つぶさない－

- いれない：
  - 日常生活の感染機会（密集、密閉、密接）を避ける
  - 体調管理、出勤前の体温チェック
  - 感染源になるリスクを極力おさえるため、常に正しいマスクの使用、正しい手指衛生を実施する
- ひろげない：
  - 同僚へひろげない  
「気づかない陽性者」であった場合でも、自分の同僚に濃厚接触者がでないよう工夫  
例：休憩の取り方、休憩室の使い方の工夫、環境の清掃、手指衛生、マスク
  - 患者・利用者へひろげない  
勤務中は標準・接触予防策及び咳エチケットを徹底、外部ICNの支援を受けながら評価、改善
  - 施設内でひろげない  
COVID-19の疑い例、確定例のゾーニング、その担当者のとりにきめ
- つぶさない：
  - 医療機関の機能維持のために、現実的にできることの最善策を実施
  - 病床のコントロールの司令塔－調整機能を決定する
  - 風評被害や業務負担に耐えている行政・医療施設のメンタルヘルスに留意し、休養がとれる体制とする
  - 風評被害対策は組織としてとりくみ、広くアナウンスすることも効果的

# うつらない、うつさないためにできること

ださない



いれない



よごさない

使ったあとは  
汚染源！



# ご清聴ありがとうございました



東京大会開催時の感染研内危機管理センター  
(EOC:Emergency Operations Center)